

峻 嶺

大町市立第一中学校 学校便り

NO. 7 平成26年11月27日

忍 耐

学校長 三ツ井 仁

今回の地震、大町市内には大きな被害がなかったけれど、白馬や小谷は大変な状況です。地震に関して必要なことは担任の先生に伝えておいてください。また、地震のメカニズムや特徴、避難の仕方を知っていることが大事です。いざというとき、どう対処したらよいか確認しておいてください。

さて、これから長い冬がやってきます。動物も植物もじっと耐え、春を待つそんな季節になります。じっと耐える「忍耐」という言葉が大好きです。生きていく上で大事な言葉です。これからの人生、良いことばかりではありません。むしろ、辛いこと、上手くいかないこと、いやなことの方が多いの人生です。例えば、テストで良くできたと思うことは少ないものです。部活動でもそう、勝ちたいと思ったけれど勝てなかった。中学校を卒業して、高校や社会に出てからも、いやなことの方が多いかもしれません。そんなとき、この次は良くなろうとじっと我慢して努力する、それが生きていくことです。いやなことがあっても我慢する、次に向かって頑張る、我慢するという気持ちが大事です。

昔のヨーロッパにある「四元徳」の中の言葉に「忍耐」という言葉があります。「四元徳」とは、人間が生きていく上で大事な事柄とされていました。一つ目は「思慮」、二つ目は「正義」、三つ目が「忍耐」です。そして、四つ目は「節制」です。

それでは、「忍耐」はどうすれば身につくのか。

駅伝で有名な佐久長聖高校陸上部の顧問の先生は、「陸上の練習では忍耐力は育たない。忍耐力は普段の生活の中でしか育たない。」と言っています。つまり、学校できちんとすべきことを、きちんとできない者に忍耐力はつかないということです。地球環境高校サッカー部の顧問の先生は、「オンザピッチとオフザピッチはイコールである。」と言っています。言っていることは同じことです。

普段の生活の中でやるべきことを一つずつきちんとやる、それが大事なことであり「忍耐」をつけるのです。一学期「一生使える体をつくる」という話をしました。体とともに心も育て、春を迎えてほしい。



11月19日 一中を育てる会 を開きました

一中を育てる会とは・・・第一中学校の生徒たちの健やかな成長のため、中学生を取り巻く社会環境や生活上の諸問題などについて意見交換する会です。(H13より実施)

参加者は・・・警察署、教育委員会、市内高校の生徒指導係、主任児童委員、地元育成会長、自治会長、PTA役員さん代表、学校職員代表の29名の参加でした。

発表された内容・・・

〔警察署、生活安全課より〕

市内中学生の問題行動等の事案はなく、落ち着いている。高校へ行く位の年代だと初発型の非行が若干はある。ネット問題では、気軽に自分の裸の写真をネットに載せ、児童ポルノ製造で補導されるという事案があり、身近にもある。スマートフォン、ゲーム機、iPod、SNS等、ぜひ使い方のルールを家庭で決めてほしい。交通安全に関しては、自転車の安全な乗り方等自分の安全を守ること、被害に遭わないことの指導はあるが、自転車によって自分が加害者に成り得るんだということ、リスクについても指導してほしい。



〔教育委員会より〕

市内では学力、体力の問題がある。学力状況調査では生活実態の調査もあるが、その中で読書は良いが、家での予習や復習の時間が少ない。また、1日に2時間以上ゲームや携帯を使っている割合が高く、クロス集計でそういう子ほど学力に課題がある。市内では携帯は学校へは持って行かないことになっている。持って来た場合は学校で預かるようにしている。それを含め、大町では大町サンプランとして取り組んでいる。また、不登校の問題や、発達障がいのある子どもが増えており、厚くケアしている。また、家庭的に経済的支援をしている子どもも1割程度いる。体力の問題では、特に中学生の女子の足腰が弱い。クマが心配ないときは、登下校でしっかり歩かせてほしい。

〔大町高校の先生より〕

現在一中の卒業生76名、たいへん落ち着いて頑張っている。今年の卒業生のうち一中生は29名、そのうち国立大学に進学した生徒がいる、また県の職員に採用された生徒がいる。クラブ活動では一中の卒業生で、硬式テニスで県大会3位と活躍している。まさに、文武両道でがんばっている。また、バスケ、バレー、サッカーは北高と合同チームを組み活動している。一中の生徒と高校生が練習や試合をしたりして、中高の交流もありうまくつながっている。

高校の生徒指導の会議でも、スマホやネットで名前や学校名をあげて友人とトラブルになっている問題が取り上げられている。今まで高校では使い方については家庭に任せていたが、今はそれだけではだめで、使い方については家庭と学校と連携していくことを考えている。体力に関しては、高校生も特に持久力、柔軟性が低いが、大町高校では登山を通して、学年が上がるにつれ向上が図られている。

〔第一中学校より〕

落ち着いて生活していて特別な問題行動はないが、4月当初自転車の乗り方について地域よりご指摘があり、命にかかわることなので全校生徒への指導、自転車通学生徒への指導をした。

あいさつは良いという話を聞くが、今後も力を入れて指導していく。

不作法な子どもを育てたくないということで指導に当たっている。

発表の後、参会者の方から、あいさつのこと、小中学生の車での送迎のこと、小学校の「いっしょに帰ろうデー」等の話をいただきました。また、不登校生、朝の部活動、家庭学習、学力調査のことについての質問が出され、たいへん有意義な会になりました。学級懇談会などで話題にしてもらえると有り難いです。最後に、平子ども育成会長さんより、この地域での戦争に関するDVDを2本頂戴しました。平和の尊さを学ぶために有り難く使わせていただきます。ありがとうございました。

